

3-2. 県民の生活がこう変わります

県土整備プランが実現されると、今後の県民の生活や企業活動が次のように変わります。

① 渋滞が大幅に改善されます

県内各地、特に、ものづくり産業の集積地である中部・東部・西部地域では、物流や日常生活に悪影響を与えている慢性的な混雑や、朝夕の通勤時に交差点で生じている渋滞を解消するために「7つの交通軸」の整備を進めています。

現在、主軸となる幹線道路の整備を中心に進めていますが、交通量推計*の結果、渋滞を大幅に改善するためには、主軸の整備とともに、混雑の一因となっている地域に滞留する交通を、主軸に誘導するための軸間連絡道路等の整備が効果的であることが判明しました。

また、物流を担う大型車が、市街地内を経由せずに高速道路のインターチェンジへスムーズにアクセスできるような道路整備も効果的です。

渋滞の改善を図るための主な事業は次のとおりです。

【主軸関連】

- ・上武道路
- ・東毛広域幹線道路
- ・西毛広域幹線道路

【高速インターアクセス道路関連】

- ・南新井前橋線

【主要な交差道路関連】

- ・寺尾藤岡線

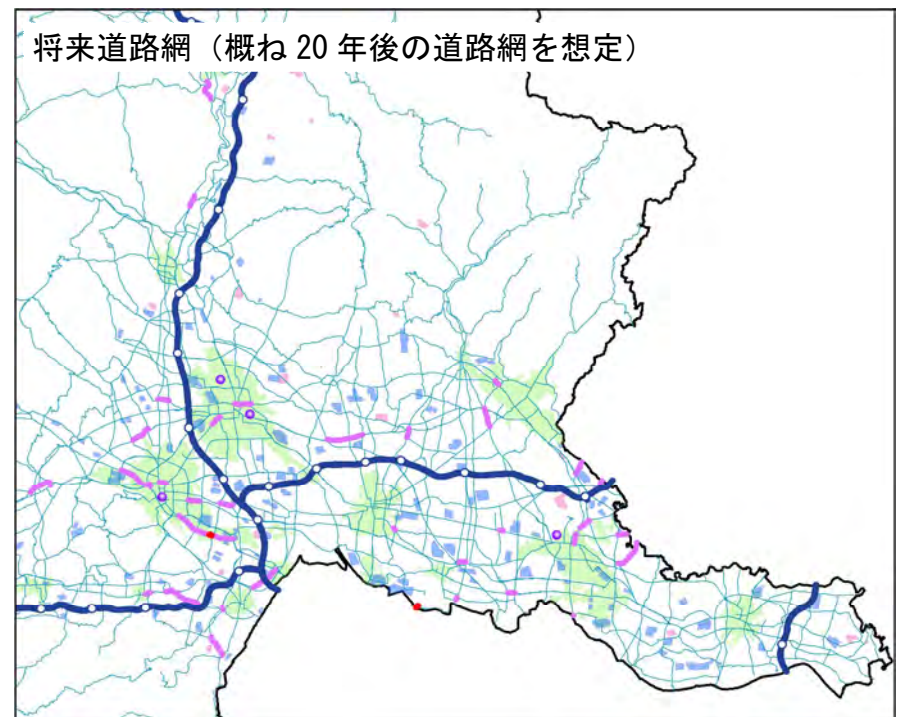
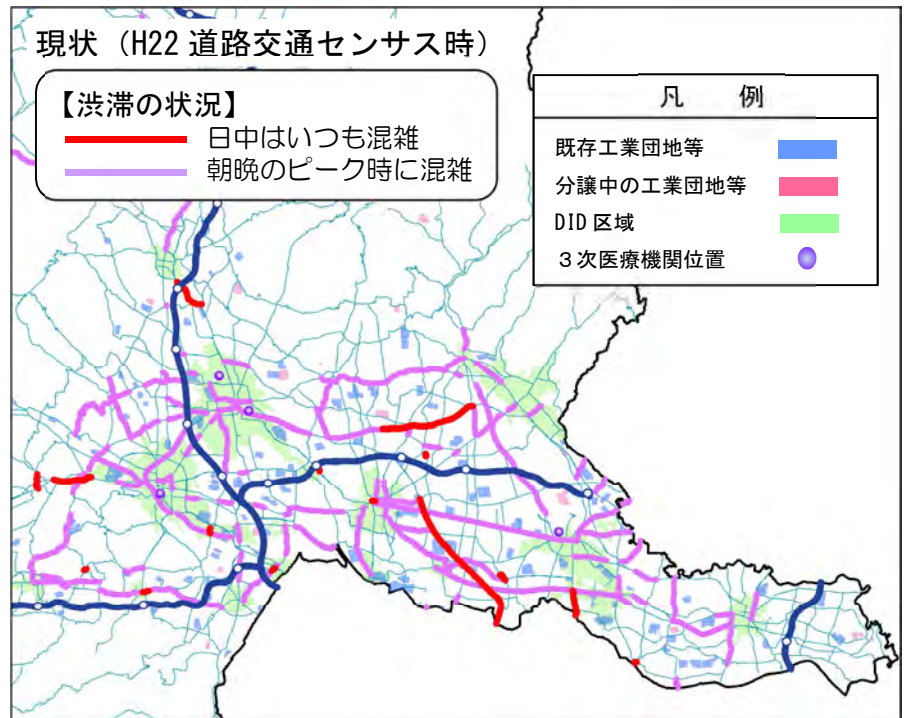
【軸間連絡道路】

- ・国道122号（八重笠道路）

【交差点改良】

- ・前橋館林線
（金井交差点ほか4交差点）
- ・国道406号
（君が代橋西及び上豊岡町北交差点）

※ 交通量推計における将来交通量には、開発に伴う誘発交通を見込んでいません。



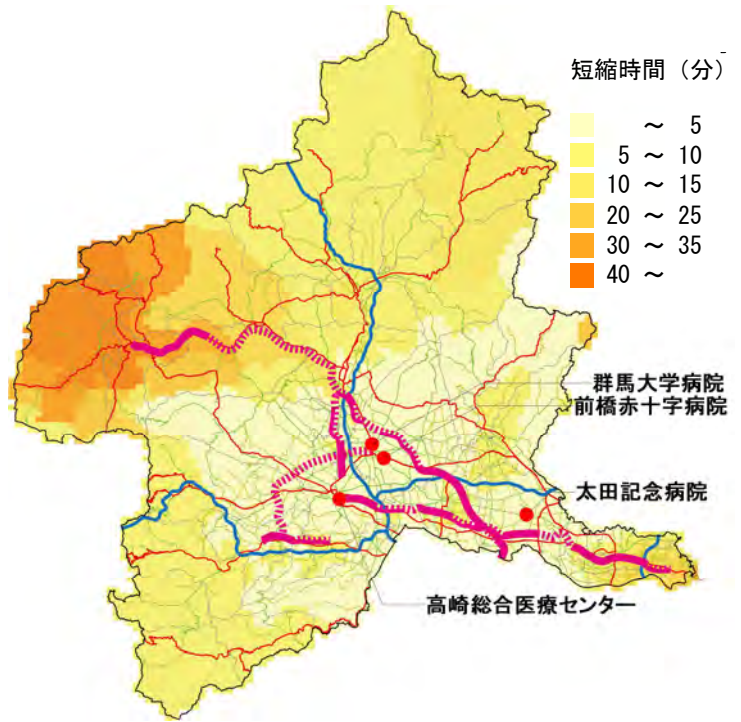
図表-24 道路整備による混雑の減少状況

④医療機関への所要時間が短縮します

7つの交通軸などの整備により、県内4箇所の救命救急を担う三次救急医療機関※へのアクセスが強化されます。

県民アンケートによれば、吾妻圏域では、地域の医療に対する改善要望の割合が高く、また、幹線道路の整備についても同様の結果となっています。

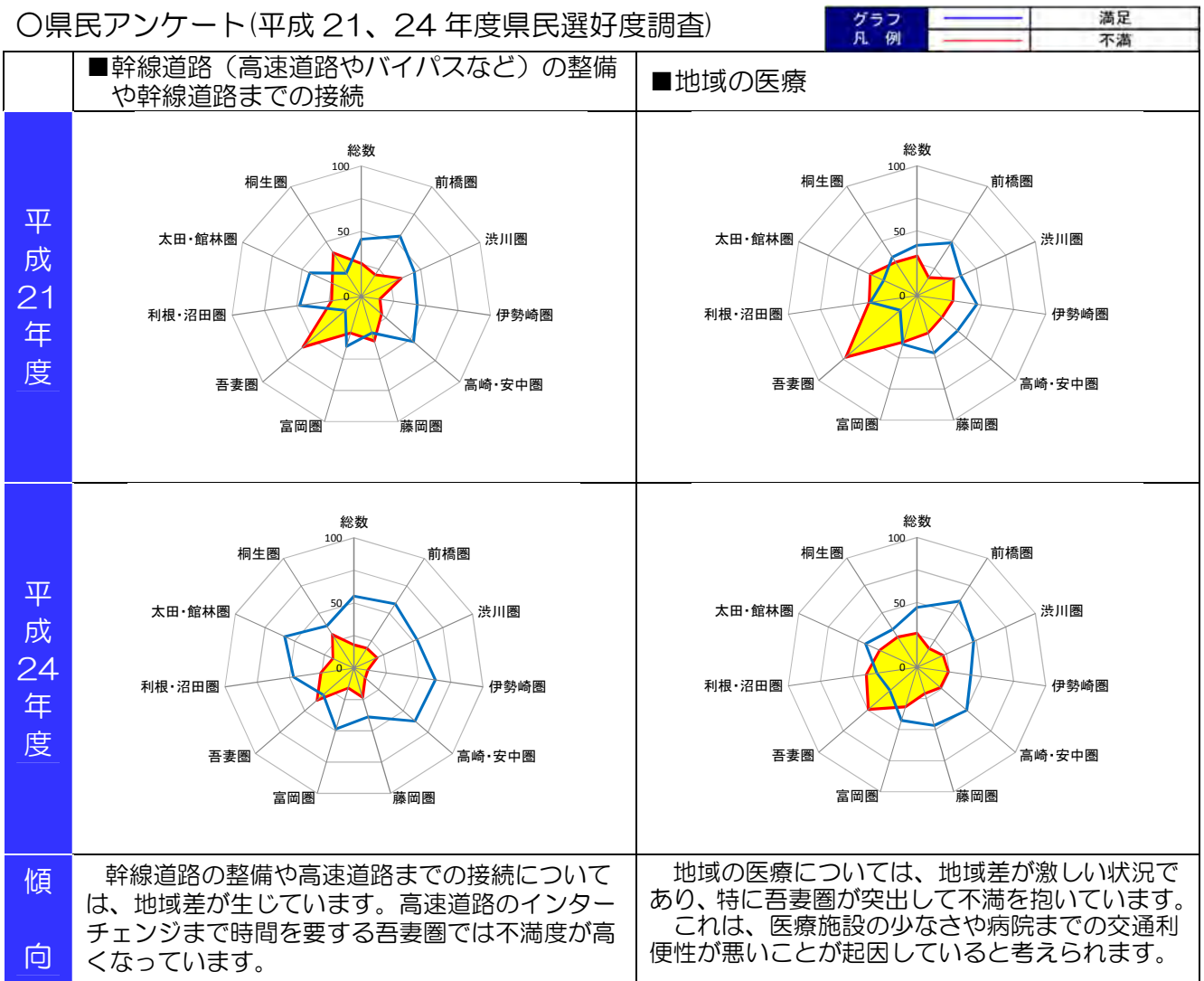
※ 三次救急医療機関とは、重篤な救急患者を原則24時間365日受け入れることが可能な医療機関です。前橋赤十字病院（前橋市）、独立行政法人 国立病院機構高崎総合医療センター（高崎市）、群馬大学医学部附属病院（前橋市）、富士重工業健康保険組合 太田記念病院（太田市）の県内4箇所の救命救急センターが該当します。



※ 平成24年度末を基準として、平成34年度末までの整備による変化を图示。

図表-27 三次救急医療機関への移動時間短縮状況

○県民アンケート(平成21、24年度県民選好度調査)



図表-28 幹線道路の整備や地域医療に関する満足不満の状況